

1日の生活(校時表)

※5時間授業のときは終わりが14時15分となります

	8:10	8:25	10:00	10:25	12:00	12:40	12:55	13:10	15:00	15:15	
【小学校】	朝の会等	1時間目	2時間目	業間休み	3時間目	4時間目	給食	昼休み 清掃	5時間目	6時間目	モジュール 終わりの会
【中学校】	朝の会等	1時間目	2時間目	3時間目	4時間目	給食	昼休み 清掃	5時間目	6時間目	終わりの会	

校章



「能勢ささゆり学園」出身の子ども達が、世界に羽ばたいて活躍できるような人間に育てほしいという願いを込めて、翼をイメージしたデザイン。能勢町の町章をアレンジした文字とささゆりの花を中央に配置。

制服

制服標準仕様
紺色上着、
ネイビーブルー系ズボン
又はブルー系チェック柄スカート、
ネクタイ又はリボン



アフタースクール

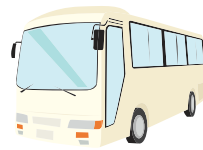
子ども達が多種多様な経験ができるよう、放課後に様々な体験のできるプログラムを設定し活動します。

- アフタースクールI(15:50～17:20・小学生対象・原則無償)
自主学習室(プリント学習を中心に個別の習熟に合わせて学ぶ)
スポーツ・一輪車・工作・伝統文化等の教室
- アフタースクールII(17:30～19:00・小中学生対象・有償)
自立学習塾(中学生のみ対象、映像授業を活用し個別の習熟に合わせて学ぶ)
スポーツ・伝統文化・ものづくり等の教室
- 学校支援地域本部
コーディネーターを配置して、学校と地域をつなぐ拠点とします。
学校生活支援、授業支援ボランティア・アフタースクール支援ボランティアを募集し、子どもたちの学習や活動の応援をしていただきます。
例：本の読み聞かせ、農業体験、昔遊び、郷土料理等の教室



通学方法

- 天王地区及び東地域(旧田尻小、歌垣小、東郷小の校区)の児童・生徒についてはバス通学
- 西地域(旧岐尼小、久佐々小の校区)のうち、新学校までの距離が片道おおむね3km未満の児童は徒歩通学、片道おおむね6km未満の生徒は徒歩又は自転車通学、それ以外はバス通学です。
- バスは、町内10路線。登校は1便、下校は3便で運行します。



学校の地図



お問い合わせ先

能勢ささゆり学園 能勢小学校・能勢中学校 〒563-0364 大阪府豊能郡能勢町平野110番地
TEL: 072-743-9028 FAX: 072-743-9029

学校案内

グローバルに(国際的視野をもって)考え
ローカル(能勢が学びのフィールド)で行動する
次代の能勢(世界とつながる能勢)を担う子ども達が学ぶ学校

能勢ささゆり学園

四季の移りかわりを肌で感じ、豊かな自然の中でのびのびと育つ



自分が好き!
仲間とともに!



能勢が好き!
夢がいっぱい!

能勢町 施設一体型小中学校
能勢町立能勢小学校
能勢町立能勢中学校
～能勢町は保、幼、高校とつながる教育を展開しています～



地域と共に歩む学校

① コミュニティスクール

保護者や地域のみなさんと共に能勢の魅力ある学校づくりをめざします。
例) 学校運営方針について説明を受け承認します。
学校行事への参画や授業参観を行い意見をいただきます。

検証軸
学校評価
報告書

検証軸
学校運営
協議会

② チーム学校

児童生徒の多様な課題に対応できる専門性に基づくスタッフを配置します。
例) スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー・理学療法士・言語聴覚士・作業療法士・看護師・学校司書・ALT 等

検証軸
学校教育
自己診断

③ 小中連携・一貫教育

9年間をつなぐ教育システムについて研究し、効果のある連携・一貫教育をめざします。
例) 小中合同職員会議・教職員の小中兼務・各教科のカリキュラム作成・学級担任制と教科担任制のゆるやかな接続

自分が好き!

自分のもちあじを大切にし、
自信の持てる子

《体力づくり》

健康で明るい生活を送ることができるよう、運動に親しみ体力向上を図る取り組みを進めます。
●遊びの充実 ●マラソン大会
●体力テストの実施 ●部活動の活性化

《自主・自立学習》

学習習慣を身につけるため、「宿題」「自学ノート」「チャレンジ学習」「計画勉強」等に取組み、目標に向かって力をつけていきます。
●漢字検定(小学生無償) ●英語検定(中学生無償)
●家庭学習の手引き ●自立学習室の活用

能勢が好き!

能勢を誇りに思う子

《グローバル能勢》

能勢町全体を学びのフィールド、能勢に住む人々を学びの支援者にとらえ、能勢の自然、歴史、産業、伝統文化等について学習します。
●ハンドブックの活用 ●アイデアソン
●ふるさと再発見 ●地域学習

《食育》

中学校給食を導入し、自校調理方式で給食を実施します。能勢米の米飯給食が週4回、地産地消で残食なしをめざします。
●縦割りコラボ給食 ●郷土料理の調理実習
●メニューコンテスト ●ランチルームの活用

めざす方向性

小・中9年間で、
すべての子どもたちに、
自立して社会で
生き抜く力をはぐくむ。

人権が尊重される学校

① 授業スタンダード(アクティブラーニング)

学ぶ力を身につけるため、子どもたちが意欲的に参画する授業の実現
課題をつかむ⇒一人で考える⇒グループ、全員で考える
⇒自分の学びを確かめる⇒次への授業につなぐ

検証軸
能勢町
学力・学習
状況調査



② 人権・多様性教育の実施

多様な価値観を認め、「差別」を絶対許さない学校の実現
多文化共生の学習・同和問題学習・いのちの学習・
平和学習等人権課題について考えるカリキュラムの実施

検証軸
キャリアマップ
(仮称)

検証軸
社会性測定
尺度調査

③ ささゆりトラストプログラム(いじめ防止基本方針)

「いじめ・仲間はずれ」を絶対許さない学校の実現
いじめの未然防止「児童生徒が主体となる活動」「毎日の観察指導」
実態把握「アンケートの実施」「家庭との連携」早期発見・素早い対応「ささゆりトラスト委員会」

④ ライフデザイン教育

一人ひとりの「生き方」のイメージを持ち、その実現に向けての力をつける教育の実施
例) ようこそ先輩・ボランティア・職場体験・金銭教育 等

仲間とともに!

仲間のもちあじを尊重し、
共に活動する子

《インクルーシブ教育》

共に学び、共に育つ「基礎的環境整備」と「合理的配慮」の研究に努め、「共生社会」の形成をめざします。
●専門家の巡回相談 ●自立支援教室
●個別の教育支援計画 ●個別の指導計画

《ささゆりタイム》

小中合同の縦割り集団で活動する時間をささゆりタイムと言います。異学年交流では、高学年が低学年をしっかりと支え、互いに助け合うこと、年齢を超えて共働することの大切さを学びます。
●徒歩遠足 ●交流給食 ●縦割り清掃 ●あいさつ運動 ●児童会生徒会サミット ●れっつコラボ

夢がいっぱい!

自分の道を自分で切り拓き、
自分の生き方を実現する子

《グローバル英語》

小1から週3回フォニックスの学習、中1から英語の本に親しみ多読・多聴の取組みを通じて英語の活用力を身につけます。
●全学年 ALT を活用 ●阪大留学生とコラボ
●英語 DAY CAMP ●英語検定に挑戦

《情報教育》

いつでも、どこでも情報通信機器が活用できる情報ネットワーク、大型 TV、デジタル教科書等を活用した授業を展開します。
●全教室に大型 TV ●タブレット型 PC の導入
●映像授業の活用

能勢地域小中高一貫教育

『能勢の宝である子どもたちを学校・家庭・地域・行政が一体となって育てる』の理念に則り、「つながる」教育を進めていきます。

学級担任制から教科担任制へ

小1年	小2年	小3年	小4年	小5年	小6年	中1年	中2年	中3年
学級担任制						教科担任制		

豊かな体験・集団宿泊行事をつなぎます(内容は未定です)

小1年	小2年	小3年	小4年	小5年	小6年	中1年	中2年	中3年
自然の中で遊ぼう	1日キャンプ	宿泊キャンプ	臨海学習	広島修学旅行	勉強合宿	英語合宿	沖縄修学旅行	

児童生徒数・教職員数(H28.3.1現在)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計		校長	教頭	教職員	合計
児童数	50	56	53	69	53	63	344	小学校	1	1	28	30
生徒数	70	70	97				237	中学校	1	1	26	28

※教職員数(教員・養護教諭・栄養教諭・事務職員)

行事の考え方

ほのぼの温かい雰囲気の小学校運動会とさきつと凛々しい迫力ある中学校の体育大会は別に実施します。合唱コンクールは、小学校高学年と中学校が合同で実施します。春の遠足は、学園全体縦割りで行います。このように、行事一つひとつの目的を考え、効果のある行事設定を考えていきます。